



2020年5月15日

各 位

会社名 有機合成薬品工業株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 松本 清一郎
(コード番号 4531 東証第1部)
問合せ先 取締役 専務執行役員 山戸 康彦
(TEL 03-3664-3980)

新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2021年3月期を初年度とする3か年(2020年度～2022年度)の中期経営計画を下記のとおり策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画 基本方針

当社は、培ってきた「ものづくり」の強みを活かし、『激変する経済環境の中、売上・利益の確保という喫緊の課題に対処しながら、新製品の継続的導入と新規用途開発などを離陸させ、以て向こう10年間の安定経営に資する礎を築く』を基本方針とし、5つの重点施策を推進します。

2. 経営目標

前中計(2016年度～2018年度)では、特に最終年度において、原燃料の高騰を始めとした価格競争激化、竣工した新規医薬品設備の本格稼働の遅れ、米国におけるグリシンアンチダンプ調査開始等が重なり、営業利益が目標値を下回る厳しい状況となりました。前期(2019年度)は、このように当社を取り巻く環境の不透明さが大きいことから、単年度での業績回復を目指した結果、売上高は過去最高を記録し、営業利益も期初計画を上回ることができました。

しかしながら、昨年10月、当社常磐工場(福島県いわき市)を襲った台風及び記録的短時間大雨による影響で、前期は、喫緊課題への対応を着実に進めるとともに、水災からの迅速な復旧に注力いたしました。

こうした状況を踏まえ、新中期経営計画では、中長期的視点に立ち、今後の安定経営に資する礎を築くとともに、収益力の向上を図るべく、以下の重点施策を推進し、掲げた数値目標の達成を目指します。

(1) 重点施策の推進

①クオリティーカルチャーの向上

クオリティーカルチャーの向上を通じて、経営効率を上げると共に、事業継続性を通じた社会貢献を実現します。

②働き方改革と人材育成

新規施策導入による働き方改革を実現し、併せて人材育成強化を図ります。

③アミノ酸事業の再生・再構築

アミノ酸事業を再生・再構築し、世界市場でのトップシェアを維持・拡大します。

④新規医薬品設備の活用、新製品開発体制の拡充

新規医薬品設備の活用により、新製品開発体制の拡充を図り売上を伸ばします。

⑤化成品分野の基盤強化

パートナーシップの強化を通じて、化成品分野の基盤強化を図ります。

(2) 数値目標

(金額単位：百万円)

	2020年3月期 (実績) ^{注1}	2021年3月期 (初年度)	2022年3月期 (2年目)	2023年3月期 (最終年度)
売上高	10,717	11,300	11,800	12,400
営業利益	312	250	370	430
経常利益	401	220	330	400
当期純利益	△42	160	180	220
ROA ^{注2}	1.5%	1.3%	1.9%	2.3%

注1. 本日同時刻に開示した、「2020年3月期 決算短信[日本基準](非連結)」をご参照願います。

注2. 当社は、収益性(売上高利益率)と事業の効率性(総資産回転率)の向上が企業価値を高めると考え、それらを示す指標として ROA(総資産営業利益率=売上高利益率×総資産回転率)を経営目標値としております。

(注) 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、リスクや不確実な要素も含まれることから、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上